白駒妃登美の
なでしこ歴史物語 2

日本の悠久の歴史をひもとけば、そこにはわが国を支えてきた「なでしこ」たちの存在があります。福岡の人気歴史家・白駒妃登美さんに、そんななでしこたちの知られざる歴史物語を紹介していただきます。

博多の歴女 白駒妃登美（しらこまひとみ）

置かれた場所で「今」を生きる

――江戸のアイドル・笠森お仙 ②

笠森お仙（1751-1827）
江戸時代、笠森稲荷前の水茶屋で働いた看板娘。江戸の三大美女の一人。結婚後は9人の子を育て、天寿を全うした（享年77）。

【イラスト】アオジマイコ

突然の失踪

前回は、江戸の三大美女といわれた笠森お仙の魅力が、「受容力」という女性らしさにあったことをお話ししました。

今回は、結婚したお仙がその後どのように生きたかについて、「今を生きる」をテーマにお話ししたいと思います。

当時、江戸の町は極端に男性の多い社会でした。それは、徳川幕府が全国各地の藩主を定期的に江戸へ出仕させる「参勤交代」という制度があったからです。「江戸三百藩」ともいわれるように、数多くの藩主とその家臣たちが江戸に暮らしていました。

そして水茶屋のアイドル・お仙に惚れた男性たちは、なんとかお仙に言い寄れないかと思案していたのです。

ところが、明和七（一七七〇）年二月、事件が起こります。

突如としてお仙が姿を消したのです。

当時十九歳。まさに人気絶頂の時でした。お仙の突然の失踪に、男性たちは落胆したり、憤慨したり……。中には〝どこに隠したんだ〟と水茶屋の主人に詰め寄る人もいたようです。お仙はいったい、どこへ行ってしまったのでしょうか。

アイドル人生から幸せな家庭生活へ

実は、お仙が姿を消したのは結婚するためだったのです。

お相手が一般庶民であれば、そんなことも必要なかったのですが、幕府の役職者との結婚だったため、ことは秘密裏に進められる必要がありました。ですからお仙は不